

シンガポールの Maker 界を引っ張る William Hooi

高須正和のアジアンハッカー列伝

■シンガポールの Maker 界に必ずいる人

William Hooi（ウィリアム・ホイ、以下ウィリアム）はシンガポールの Maker 界のジャイアントです。前回紹介したヴィヴィアン大臣をはじめ、シンガポール中の Maker が彼を知っています。

シンガポールは人口わずか 500 万人あまりの小さい国ですが、高度にマネージメントされています。労働者はだいたい移民なので、シンガポール人は投資やマネージメントをしていて、手を動かす人は少ないため、DIY のムーブメントは大きくありませんが、ワークショップや展示会は多く行われ、互いが互いを知っています。

ウィリアムは元々シンガポールの公務員でしたが、独立後、シンガポールや周辺諸国の Maker ムーブメントをつなぐハブとして大きな役割を果たし、小さい国に大きなムーブメントをもたらしています。

シンガポールのビジネスマンのいい例でもあると思いますので、彼のキャリア含めて紹介します。

[Wiliam_Makeblock]



彼が開いたイベント **Makeblock Singapore** にてプレゼンするウィリアム。日本を含む世界十数カ国からの出展者が集まった。

ウィリアム自身はマレーシアの生まれで今もマレーシア国民ですが、高校の教師として、さらにはシンガポールの科学未来館であるサイエンスセンターシンガポールで、15 年間シンガポールの公務員として働いてきました。

特にシンガポールサイエンスセンターで働いていたここ 3 年間、彼は世界やシンガポールでのメイカームーブメントの流れに強く惹かれていました。

ウィリアムはメイカームーブメントについてこう語ります。

「メイカームーブメントは世界的な **DIY** の盛り上がりで、それにより新たな産業が生まれ世界を変えていく流れです。大学や企業の研究開発部門のように新しいプロジェクトやプロジェクトを生み出していますが、多くはテクノロジー好きのアマチュアから生まれた、まったく別の階層（クラス）です。

彼らイノベーターは、オープンソースの技術を使い、思いついたらすぐ手を動かすラピッドタイピングの手法を使って、これまでの形式張った学習の枠を見えなくさせ、クリエイティブな科学技術の可能性を生み出しています。」

ウィリアム自身、針金と乾電池を使って子供にその場でモーターを作らせるなどのワークショップを行い、カンボジアやオランダなど、海外からもよく招待されています。彼自身がアツい言葉で **Maker** のことを語り、人を惹きつけます。

[chaosasia]



シンガポールで行われた国際的なプレゼン大会 **CHAOS ASIA** で **3rd Prize** に輝くウィリアム。一位はソフトウェアエンジニアのしくみデザイン 中村俊介さん、2 位が僕だったので、3 人とも **Maker** の受賞になりました。

ウィリアムはサイエンスセンターで働いていた頃から、国際的にネットワークされた **Make** と教育の組織 **HACKADEMIA**(ハッカデミア)で、シンガポールのチームリーダーを務めていました。シンガポールではじめて行われた **Mini Maker Faire** のまとめ役も行っています。

Maker ムーブメントにもっと深くコミットするために、この 3 月、彼はサイエンスセンターから独立し、彼自身が代表となって「いかに人をクリエイティブにするか」というコンサルティング会社 **HYPERFLOW Group** を設立しました。

■国際的なイベント Makersblock

6 月には早くも最初の大きなイベント「**MakersBlock Singapore**」を開催します。シンガポールの中心地サンテックシティに 300m² の会場を借り切り、10 日間にわたって展示やワークショップを行いました。マレーシアやインドネシア、カナダ、アメリカなど 10 数カ国を超える **Maker** が参加、日本からはスケルトニクスが招聘され、シンガポールの新聞に見開きで掲載されるなど、大きな評判を呼びました。

MB_workshop.jpg



様々なワークショップが行われた Makersblock

MB_skeltenics.jpg



スケルトニクスのデモは大人気

ウィリアムはスケルトニクスについて、「もちろん大きいから目立つのもあるけど、見れば仕組みがなんとなくわかること、目の前にいる人たちが手で作ったことが伝わってくるのが何より人を興奮させる。自分も何か作ろうと思わせる。」と語ります。

Makeblock_william_skeletonics



スケルトニクスに大喜び

続いて 8 月には、生まれ故郷のマレーシア、ペナンのジョージタウンでまた大規模なイベントを行います。

■シンガポールの Maker の本拠地 OneMakerGroup

さらに 9 月、シンガポールの国立デザインセンター（美術館ではなく、アーティストの活動を支援する施設）と提携して、シンガポールの 5 つの Maker グループを連携させ、「OneMakerGroup」（以下 OMG）を立ち上げました。

OMG は 100m² を超えるスペースに、3D プリンタ・大型レーザーカッター・バズソー・ボールソーなどの工作機械と常駐のスタッフを備え、200 シンガポールドル（17000 円ほど）の月額会員制でいつでも使うことのできる、テックショップのようなスペースです。

- ・ Homefix DIY(東急ハンズやコメリのような DIY ショップ)が設備と材料をサポート、
- ・ Sustainable Living Lab(デザインに優れたリサイクル製品を生み出すことで、DIY で生活できる人を増やすグループ)がワークショップと製品開発をサポート、
- ・ Simplifi 3D (3D プリンターのショールーム、普及活動を行っている)が 3D プリンティングの設備と技術をサポート、
- ・ SG Makers として、彼らに発表の場所を与えるイベントを行う
- ・ HYPERFLOW として、Maker と産業を結びつけたい人たちのコンサルティングを行う

と、それぞれ得意分野があり、単体では NPO に近いものを、組み合わせることでビジネスが生まれるようにしています。ここからアートと産業が生まれることで、国の施設であるデザインセンターのプログラムとして入居することを可能にしました。

全員が得意分野を出していくことで、単体では成り立たないビジネスを立ち上げるアイデアは見事なものだし、実際にそれぞれと深い信頼関係を築いて成立させる手腕は見事なも

のです。

実際にこのスペースから、いくつかビジネスになっているプロジェクトが生まれています。

12 月に、このスペースのお披露目のかねて、「**Maker Festival Singapore**」として、2 週間のイベントを行います。最初の 1 週間は **OMG**、次の 1 週間はシンガポールのアートサイエンスミュージアムで **Maker** のイベントを行います。前述したヴィヴィアン大臣だけでなく、シンガポール政府全体が **William** のような **Maker** を応援しています。

■次のイベントは東京！

William は日本の **Maker** たちに深い関心を持っています。

「日本のテクノロジーの幅広さ、特にアニメやマンガに影響された技術はすばらしいモノです。ガレージやアパートから出てくる沢山のプロジェクトは、まるでアジアのシリコンバレーのように見えます。

久川伸吾&真理子夫妻（鳥人間）、石渡昇太（機楽株式会社）、明和電機、丸幸広（リバネス）のような、友達の日本の **Maker** には多くを教えられています。私が彼らから学んだ文化とテクノロジーを、自分たちの手で美しいモノを生み出したいと思っている、多くの人に伝えたいです。」

William の次のイベントとして、シンガポールの **Maker** 達 15-20 人ぐらいを引き連れて東京の **MakerFaire** に行きます。

僕も連動して東京の **MakerFaire** や、同時期に行われている **Pixiv** 祭、翌週から始まるチームラボ展などの案内をします。

彼らのツアーの一環で、11/25-27 日 各日 18:00-21:00 秋葉原の **DMM.Make AKIBA** にて、ニコニコ技術部を中心に日本の **Maker** を集めた展示会を行いたいと思います。

Maker Villa Tokyo 告知サイト

http://wiki.nicotech.jp/nico_tech/?Maker%20Villa%20Tokyo

出展希望者をお待ちしています。